

洗足学園音楽大学 舞踊研究所

2024年度 活動報告書

1 舞踊研究所の概要

1)沿革

洗足学園音楽大学では、2015年にバレエコースを、2018年にはダンスコースを開設した。そして、2017年に、我が国における舞踊文化の発展と普及を目的として“舞踊研究所”を開設した。

2)年表

【2017年】

3月－12月 舞踊研究所 オープンクラス

5月 「高校生ヴァリエーション2017」開催

「Senzoku Dance Gala 2017」開催

6月 ワシントンバレエ団 芸術監督のジュリー・ケント氏を迎えてマスタークラス

9月 元ベルリン国立歌劇場バレエ団プリンシパル ヴィスラフ・デュデック氏を迎えてマスタークラス

11月 「新コース開設プレイベント コラボレーション・ナイト」開催

12月 「ジゼルwithナレーション」新制作

「ジゼル」全幕上演

【2018年】

1月－3月 舞踊研究所 オープンクラス

3月 元ベルリン国立歌劇場バレエ団 芸術監督ウラジーミル・マラーホフ氏を迎えてスペシャルマスタークラスを開催

3月－4月 洗足学園音楽大学新校舎竣工記念公演 開催

4月－12月 舞踊研究所 オープンクラス

5月 「高校生ヴァリエーション2018」開催

7月 「ラヴェルのバレエ音楽作品集」『ラ・ヴァルス』振付:安達 悦子、『マ・メール・ロワ』振付:日原 永美子、『ダフニスとクロエ』振付:小林 洋壺、を新制作

8月 元ポルトガル国立バレエ団ソリスト、現イングリッシュ・ナショナル・バレエ学校教師 クリストファー・リー・ライト氏を迎えてマスタークラスを開催

9月 マーサ・グラハム舞踊団プリンシパルダンサーの折原 美樹氏を迎えてマスタークラス(コンテンポラリーダンス)を開催

10月 モナコ王立バレエ学校 Princess Grace Academy 芸術監督のルカ・マサラ氏とオランダ国立バレエ学校 芸術監督のジャン・イヴ・エスキュール氏を迎えてマスタークラスを開催

トリニティ・ラバン音楽院 ダンス学部部長のサラ・マッシューズ氏を迎えてマスタークラス(コンテンポラリーダンス)を開催

11月 辻本知彦氏を迎えてマスタークラス(コンテンポラリーダンス)を開催

12月 「眠れる森の美女withナレーション」を新制作

「眠れる森の美女」全幕上演

【2019年】

- 1月－3月 舞踊研究所 オープンクラス
- 3月 元ベルリン国立歌劇場バレエ団 芸術監督ウラジーミル・マラーホフ氏を迎えてスペシャルマスタークラスを開催
- 4月－12月 舞踊研究所 オープンクラス
- 5月 「高校生ヴァリエーション2019」開催
- 8月 「ハチャトリアンのバレエ作品」『仮面舞踏会』振付:安達 悦子、
『ガイナーヌ』振付:小林 洋壺を新制作
マリインスキー劇場プリモールスキー分館バレエ団首席バレエマスター、サンクト
テルベルグバレエヘリテージ主催者エルダー・アリエフ氏を迎えてスペシャル
マスタークラスを開催
- 10月 世界音楽紀行「踊りにし・ひがし～バレエと日本舞踊～」レクチャー＋デ
モンストレーション 振付・解説:花柳 輔太郎、花柳 輔瑞佳、安達 悦子
- 12月 「くるみ割り人形withナレーション」を新制作
「くるみ割り人形」全幕上演

【2020年】

新型コロナウイルスのパンデミックで活動が制限される。

- 1月－12月 舞踊研究所 オープンクラス 休止
- 10月 音楽教育プログラム「バレエ・くるみ割り人形より」洗足学園大学附属幼稚園にて
デモンストレーション
- 12月 「白鳥の湖withナレーション」を新制作
「白鳥の湖」抜粋上演

【2021年】

新型コロナウイルスのパンデミックが続く中、感染防止対策を徹底しながらの活動を行う。

- 7月 「ライモンダ」から改訂振付:高部 尚子
「イーゴリ公」より だったん人の踊り 改訂振付:安達 悦子、小林 洋壺
「コッペリア」から第1幕 改訂振付:奥田さやか
第3幕 改訂振付:安達 悦子
- 12月 「ジゼルwithナレーション」を改訂振付
「ジゼル」全幕上演

【2022年】

新型コロナウイルスのパンデミックが続く中、感染防止対策を徹底しながらの活動を行う。

7月 「ラヴェルのバレエ音楽作品集」

『ボレロ』振付:牧阿佐美、『ラ・ヴァルス』振付:安達 悦子、

『マ・メール・ロワ』振付:日原永美子、『ダフニスとクロエ』振付:小林 洋壱

12月 「眠れる森の美女with ナレーション」を改訂振付:

「眠れる森の美女」全幕上演

【2023年】

7月 『タンホイザー』振付:小林 洋壱

『ロマンティック組曲』振付:谷 桃子

『ロミオとジュリエット』振付:安達 悦子

『ファウスト』振付:牧 阿佐美

12月 「くるみ割り人形with ナレーション」

「くるみ割り人形」全幕上演

【2024年】

7月 『ライモンダ・スイート』振付:山本 康介

『四季』振付:山本 康介

8月 Senzoku Ballet Summer Week 開催

12月 「白鳥の湖withナレーション」

「白鳥の湖」全幕上演

2 研究体制 第8期(2024年度)

1) 洗足学園音楽大学教員 50音順

・名誉教授

赤城 圭

・教授

安達 悦子、井口 美穂

・准教授

奥田 さやか、小林 洋壱、KEITA TANAKA

・客員教授

アントニオ アロンソ、イルギス ガリムーリン、齊藤 拓、酒井 はな、高部 尚子、
館形 比呂一、成澤 淑榮、福田 和美、前田 清実、森 優貴、山本 康介

・講師

青山 季可、朝枝 めぐみ、阿部 あかね、アレクサンドル ブーベル、
アレッシオ シルヴェストリン、安藤 洋子、市橋 万樹、イリイン ゲンナジー、石井 潤太郎、
石田 亮一、今井 智也、岩崎 多賀子、上田 舞香、上野 まり子、上原 杏奈、内海 貴司、
尾形 結実、沖田 貴士、貝ヶ石 奈美、笠原 萌、加藤 浩子、加藤 未希、川島 京子、
木賀 真佐子、木村 規予香、草間 華奈、河内 達弥、古賀 明美、坂田 守、佐藤 麻利香、
信田 洋子、鈴木 理奈、ダイアナ ボール 石山、タイガー、高岸 直樹、竹内 春美、
竹下 陽子、館野 若葉、田之上 もも、鶴谷 美穂、土橋 冬夢、飛田 美央、中島 哲也、
永井 裕美、永橋 あゆみ、長谷川 まいこ、長谷川 祐子、花垣 由紀、林 七重、林 麻衣子、
樋口 みのり、日原 永美子、平田 有美、平田 沙織、廣野 有紀、黄 凱、藤森 瑞生、
星野 絢香、前原 愛里佳、松崎 裕佳、松本 梨沙、丸澤 芙由子、三木 雄馬、
みつばち まき、三寺 郷美、宮内 真理子、森 加奈、八子 真寿美、柳本 雅寛、
やの ちえみ、吉岡 まな美、吉岡 美佳、吉川 哲朗、吉田 邑那、米島 史子、
ラグワスレン オトゴンニャム、若生 加世子、和田 清香、ERIKA、KATSUYA、
KOSTAKOV VICTOR、MaSaKo、MasamiE、Meg、Saarah、TERARIE、TOMOMI、
Ryo Ohara、YO-SIN、YuuKi

洗足学園音楽大学芸術監督 秋山 和慶

指揮 井田 勝大

2) 歴代の主な講師 50音順

客員教授 故金田 和洋、特別教授 故牧 阿佐美、客員教授 三谷 恭三

3 研究活動

1) 研究の概要

舞踊研究所は、様々なジャンルの舞踊について、多角的に研究を重ねる。音楽大学の視点で、クラシック・バレエ、コンテンポラリー・ダンス、ジャズ・ダンス、ヒップホップなどの創作、公演活動を行う。

教育活動としては、著名な講師を海外や国内から招聘し、専門性を高める教育を行うと同時に、学内の講師陣の充実、成長を図る。幅広く様々なジャンルのダンスを体験してもらえよう、教育法の研究と実践を進めている。

昭和大学スポーツ運動科学研究所との連携を大切に、身体が楽器であるダンサーのパフォーマンス向上のための研究を進めていく。2019年度に、ダンサー(学生)のフィジカルチェックの実施を開始した。(2020年、2021年度は新型コロナウイルスのパンデミックで中止したが、2022年度から少しずつ再開。2023年度になり徐々に増加している。)

2) 研究成果

2022年も2020年、2021年に引き続き新型コロナウイルスのパンデミックが継続し、コロナ禍の状況下での活動になった。流行初期の頃に比べて、さまざまなデータからわかることやワクチンの接種が進んだことで、感染防止対策を徹底しながらも、対面授業や公演活動を行うことができた。

2023年は、ほぼ、日常に戻り、海外教員によるマスタークラスとしてデイヴィッド・マッカテリ先生によるバレエクラスとヴァリエーションクラスを実施することができた。

2024年よりSenzoku Ballet Summer Weekを開催し、モナコ・プリンセス・グレース・アカデミーのローラン・フォーゲル先生(クラシックバレエ)とクロアチア・リエカ・バレエ団芸術監督のマーシャ・コラル先生(コンテンポラリーダンス)を招聘。クラシックバレエとコンテンポラリーダンスの教育法の研究を進める基盤ができた。このワークショップは、ジュニア(小学4年生～中学1年生)からシニア(中学2年生～大学生)まで幅広い年齢層を対象としており、専門的なバレエ学校がない日本では、10歳から22歳までの成長に合わせたバレエ教育を研究して行く貴重な機会となる。毎年、同じ時期に継続して開催することで、研究成果を積み重ねて行く。

洗足学園創立100周年の記念公演に数多く出演し、クラシックバレエやさまざまなダンスを披露した。

【主催公演】

チラシ、プログラムは印刷して配布せず、電子チラシ、QRコードでの配信とした。チケットについては前田ホール・MUSIC POOL CINO・ビッグマウス公演はteketを利用した電子チケットにて対応した。

第7回 ダンスコース前期公演

日時:2024年7月20日(土)昼公演開演:15:30 夜公演開演:18:30

会場:洗足学園 前田ホール

入場料:無料

出演:ダンスコース学生

振付・指導:前田 清実、舘形 比呂一、岩崎 多賀子、田之上 もも、林 七重

平田 有美、藤森 瑞生、八子 真寿美、米島 史子、

KEITA TANAKA、ERIKA、KATSUYA、TERARIE、TOMOMI、Meg、YuuKi、

河内 達弥、吉川 哲朗、笠原 萌、

安藤 洋子、竹内 春美、貝ヶ石 奈美、森 加奈



2024年度バレエコース前期公演

日時:2024年7月27日(土) 16:00開演

会場:洗足学園 前田ホール

入場料:無料

指揮:秋山 和慶

演奏:洗足学園ニューフィルハーモニック管弦楽団

出演:バレエコース学生

◆アレクサンドル・グラズノフ『ライモンダ・スイート』 振付:山本 康介

◆アレクサンドル・グラズノフ『四季』振付:山本 康介

【指導教員】

[谷桃子バレエ団]

高部 尚子 井口 美穂 齊藤 拓 日原 永美子 朝枝 めぐみ

永橋 あゆみ 佐藤 麻利香 永井 裕美 吉田 邑那

[東京シティ・バレエ団]

安達 悦子 加藤 浩子 小林 洋壱 信田 洋子 草間 華奈

[牧阿佐美バレエ団]

奥田 さやか 館野 若葉 鈴木 理奈 尾形 結実



第7回 ダンスパフォーマンス

日時:2024年11月17日(日)昼公演開演:15:30 夜公演開演:18:30

会場:洗足学園音楽大学 ブラックホール1F ビッグマウス

振付・指導:前田 清実、館形 比呂一、岩崎 多賀子、田之上 もも、林 七重

平田 有美、藤森 瑞生、八子 真寿美、米島 史子、MaSaKo

KEITA TANAKA、ERIKA、KATSUYA、TERARIE、TOMOMI、Meg、YuuKi、YO-SIN、

河内 達弥、吉川 哲朗、笠原 萌、

安藤 洋子、竹内 春美、貝ヶ石 奈美、森 加奈、柳本雅寛、坂田守、上原杏奈

みつばちまき、廣野有紀



コンテンポラリーダンス・キャラクターダンス パフォーマンス

日時:2024年11月3日(日)公演①11:00開演 公演②14:00開演

会場:洗足学園音楽大学 ブラックホール1F ビッグマウス

出演:バレエコース学生

[11時開演]1年生・2年生

◆「月曜日 13~14:30」

構成・指導:柳本 雅寛

◆「From the 1st position」 曲:J.S.バッハ、R.シューマン、小瀬村 晶

振付・指導:小林 洋壱 ピアノ演奏:洲合 絵里名

◆キャラクターダンス 2年生

改訂振付・指導:イリイン・ゲンナジー 指導補佐:木賀 真佐子

ピアノ演奏:洲合 絵里名

[14時開演]3年生・4年生

◆「Spring」

振付:上原 杏奈 曲:The Four Seasons Recomposed by Max Richter

◆「Thunder Drum」

振付:森 加奈 曲:Bamboo Forest、Battle Dance

◆「I 'm not into it if you are in」

構成・振付:坂田 守 曲:I 'm not into it if you are in

◆「Study2024」(ウィリアム・フォーサイス作品 The Second Detail より抜粋)

構成・演出:安藤 洋子

指導:上原 杏奈、森 加奈

曲:The Second Detail

◆キャラクターダンス3年生・4年生

振付・指導:イルギス・ガリムーリン ピアノ演奏:牧 華子

◆キャラクターダンス3年生・4年生

改訂振付・指導:イリイン・ゲンナジー 指導補佐:木賀 真佐子 ピアノ演奏:洲合 絵里名



第7回ダンスコース後期公演

日時:2024年12月21日(土) 17:30開演

会場:洗足学園 前田ホール

入場料:無料

振付・指導:前田 清実、舘形 比呂一、岩崎 多賀子、田之上 もも、林 七重

平田 有美、藤森 瑞生、八子 真寿美、米島 史子、

KEITA TANAKA、ERIKA、KATSUYA、TERARIE、TOMOMI、Meg、YuuKi、

河内 達弥、吉川 哲朗、笠原 萌、

安藤 洋子、竹内 春美、貝ヶ石 奈美、森 加奈



2024年度バレエコース本公演「白鳥の湖」①～③

原振付:レフ・イワノフ

作曲:P. チャイコフスキー

会場:洗足学園 前田ホール

①

日時:2024年12月25日(水) 18:30開演

改訂演出・振付:高部 尚子

再振付・指導:永橋 あゆみ

指導:高部 尚子、齊藤 拓、今井 智也、三木 雄馬、市橋 万樹、
井口 美穂、日原 永美子、朝枝 めぐみ、佐藤 麻利香、永井 裕美

②

日時:2024年12月27日(金) 18:30開演

再演出・再振付:安達 悦子

指導:加藤 浩子、小林 洋壺、信田 洋子、草間 華奈、
奥田 さやか、館野 若葉、鈴木 理奈、尾形 結実

③

日時:2024年12月28日(土) 16:00開演

演出・振付:安達 悦子

指導:奥田 さやか、館野 若葉、鈴木 理奈、尾形 結実
加藤 浩子、小林 洋壺、信田 洋子、草間 華奈

学生創作公演「#I_AM Vol.7」

日時:2025年2月22日(土) ①16:00/②18:30開演

会場:洗足学園音楽大学 ブラックホール1F ビッグマウス

出演・振付:ダンスコース学生



第4回ダンスコース特別公演「#WE_ARE vol.4」

日時:2025年3月28日(金) 18:30開演

会場:洗足学園 前田ホール



【コラボ公演】

洗足学園100周年記念【邦楽絵巻「Feel SENZOKU !、Feel JAPAN !」】

日時:2024年9月12日(木)

会場:洗足学園 前田ホール



ONKAN Special Presents 音楽環境創造コース2期生 卒業公演 全コースコラボコンサート "Ruban de Bouquet"〜リュバン・デ・ブーケ〜

日時:2024年11月1日(金) 18:00開演

会場:洗足学園 前田ホール



バレエコース&声優アニメソングコース コラボレーション企画

「バレエ with ナレーション『白鳥の湖』①～③」

原振付:M. プティパ

作曲:P. チャイコフスキー

会場:洗足学園音楽大学 MUSIC POOL CINO

日時:2024年12月5日(金) ①18:30開演

再演出/再振付/指導:安達 悦子、小林 洋壱

指導:奥田 さやか、草間 華奈、加藤 浩子、信田 洋子

日時:2024年12月6日(土) ②13:00 / ③17:00開演

再演出/再振付/指導:安達 悦子、小林 洋壱

指導:奥田 さやか、草間 華奈、加藤 浩子、信田 洋子

日時:2024年12月7日(日) ④12:00 / ⑤17:00開演

改訂演出・振付:高部 尚子

再演出・再振付:佐藤 麻利香

指導:井口 美穂、永橋 あゆみ、日原 永美子、朝枝 めぐみ、齊藤 拓、永井 裕美



第7回 音楽環境創造コース&バレエコース コラボ公演 バレエ プレコンサート

日時:2025年1月12日(土) 17:30開演

会場:洗足学園音楽大学 ホワイトキャッスルW101

出演:バレエコース4年生



※日程が変更になったため、チラシの日程が異なります。



音楽環境創造コース×ダンスコース コラボ公演

ONKAN presents DANCE with IWAO FURUSAWA T3

日時:2024年10月4日(金) 18:00開演(17:30開場)

会場:洗足学園 前田ホール



洗足学園音楽大学 学園オペラ「ヘンゼルとグレーテル」

日時:2025年3月1日(土) 14:00開演

会場:洗足学園前田ホール

指揮:現田茂夫、演出:中村敬一、振付:安達悦子

創立100周年記念の学園オペラにバレエコースがゲスト出演。



洗足学園創立100周年記念公演 100th ANNIVERSARY STAGE

『音大のひみつ』

日時:2025年3月22日(土) 18:30開演

2025年3月23日(日) 14:30開演

会場:洗足学園前田ホール

声優アニメソングコースの主導で8コースが参加し、ミュージカル、打楽器、吹奏楽指導者マスタークラス、音楽・音響デザイン、音楽環境創造コースと一緒にバレエコースとダンスコースも出演して、壮大なミュージカルとなった。



【外部公演】

フェスタサマーミュージザKAWASAKI 2024

日時:2024年7月30日(火) 18:30開演

会場:ミュージザ川崎シンフォニーホール

入場料:S席 2,000円、A席 1,200円

指揮:秋山 和慶

演奏:洗足学園ニューフィルハーモニック管弦楽団

出演:バレエコース学生、東京シティ・バレエ団、牧阿佐美バレエ団

◆アレクサンドル・グラズノフ『ライモンダ・スイート』 振付:山本 康介

◆アレクサンドル・グラズノフ『四季』振付:山本 康介



2024年度 洗足学園バレエピアノist養成講座活動報告

1. バレエピアノについて

「洗足学園バレエピアノist」とは、主に洗足学園のバレエコースの授業の伴奏をするもので、非常に専門性が高く、一定期間の訓練が必要である。また、バレエの知識だけでなく、人間性まで含めたさまざまな資質や高い能力が要求される。その指導も、通常のピアノ講師では不可能であり、バレエピアノの専門の講師が必要となる。

2. 経緯

2015年のバレエコース開設と同時にバレエピアノistが至急必要になり、育成が暫定的に行われた。翌年から正式にバレエピアノist養成コースがスタートし、専門の講師が3人配属された。

3. 洗足学園のバレエピアノistの現在の状況

① 稼働人数

約20名のピアノistが稼働する。

② 活動内容

- ・バレエコースの授業の伴奏(通常クラス、キャラクタークラス、コンテンポラリークラス、リハーサルの伴奏)
- ・公演本番のピアノ、オーケストラにはいるピアノ、チェレスタ、電子オルガン
- ・キャラクター、コンテンポラリーの公演本番の伴奏ピアノ
- ・ミュージカルコース、ダンスコース、声優アニメソングコースのバレエ授業の伴奏やコルペティートル。
- ・クロスアーツのバレエクラスの伴奏
- ・オープンキャンパスと講習会の伴奏
- ・海外招聘教師による特別レッスンの伴奏
- ・短期大学の短大健康スポーツのバレエクラスの伴奏(2022年から)
- ・リハーサルの楽譜作成、CD編集
- ・その他

4. 周知について

洗足学園では、バレエピアノの周知や普及のために、オープンキャンパスや説明会など、バレエピアノについて説明する機会を度々設けている。

また、一昨年出版された『バレエ伴奏者の歴史:19世紀パリ・オペラ座と現代、舞台裏で働く人々』永井 玉藻著 発行:株式会社音楽之友社)において、洗足学園音楽大学のバレエピアノの養成について、講師が詳しく説明した。また、「バレエピアノの世界」(2022年、2023年、2024年の12月エコマホールNPO法人バレエの輪学び主催)での講演の中で、講師が洗足学園音楽大学の紹介をした。

その他、高等学校を訪問し、バレエピアノについて説明したり、講師の個人的なSNSでも、積極的にバレエピアノについて発言している。

5.募集について

洗足学園ではバレエピアニスト志望の学生を毎年募集し、オーディションを行い、適性のあるものを選抜し、約半年間の養成期間を経て、再び選抜を行い、合格したものだけが、4月から実際のバレエコースや他のコースのバレエピアニストとして稼働する。なお、前期は講師が横につき指導し、授業に支障がないようにする。後期は独り立ちする。

6.バレエピアニストの養成について

前述した通り、バレエピアノは高度な技術や経験、資質が必要であるが、一方でバレエピアノについての知識や情報が少ないために敬遠されがちな面もある。

そのために、まずはバレエピアノについて知ってもらうために、コースを限定せず広く学生や卒業生を募集し、「バレエピアノとは何か」を分かりやすく説明することからスタートし、その後、能力のあるものはオーディションを受け育成カリキュラムを経て(座学と実技)、次年度の稼働を目指す。

7.学生ダンサーの参加

養成講座の学生の募集はコースを限定しないと述べたが、現在、実際にバレエコースの学生も参加しており、これらはダンサーという立場から参加することが多く、舞踏音楽の理解について高い効果を上げ、主科にフィードバックさせている。

養成講座に学生がダンサーとして参加する場合、一人の学生がクラスレッスンの教師役となり振り付けをし(交代で順々に行う場合が多い)、他の学生はダンサー役となり実際に踊る。養成中のピアニストはその振り付けを読み取り演奏する。

ダンサーは、自分の指示を的確にピアニストや他のダンサーに伝える訓練となり、また、ピアニストはその指示を的確に読み取る訓練になる。

このダンサー参加型のレッスンは、養成講座において非常に重要な意味を持っている。

8.報酬・単位について

卒業生は、前期は研修期間として無報酬、後期からは準演奏補助要員となり報酬を支給する。

大学院生は、前期は研修期間、後期は、準演奏補助要員として稼働する。

学部生については、前期は研修期間、後期は実際の稼働(単位制で応用演奏実習C一単位:養成講座を受けている学生も該当)。

9.洗足学園以外での活動

洗足学園で養成講座を受け、実際の授業などで活動するピアニストのうち、多くはこの経験と知識を生かして、本学以外での活動の場を広げている。

谷バレエ団、東京シティバレエ団、新国立劇場バレエ団をはじめとするプロのバレエ団での伴奏、海外からの招聘講師などの講習会の伴奏、また、この養成講座を経て海外にわたり英ロイヤルバレエ団専属ピアニストや英バレエスクールでの専属ピアニストを務めるもの、海外のディレクター等によりバレエ学校の留学オーディションの伴奏や、バレエコンクールでの伴奏をしたり、外部公演の伴奏をしている者もいる。

10. 今後の養成講座について

洗足学園において、バレエピアニストは活動の場が非常に多く重要な位置を占め、また、常に入れ替わりがあるため、バレエピアニスト育成講座は必要不可欠なものとなっている。

また、現在全国でバレエピアニストを養成するコースがある音楽大学はまれであり、バレエピアニスト志望の受験生に向けての重要な学校宣伝にもなっている。

先述したように、近年、本学で養成されたピアニストは、世界的にも十分に通用するようになってきている

【資料1】バレエピアニストと担当教職員名一覧

(3月31日現在)

◎ピアニスト(配属順)

安藤 江利(電オル 卒 非常勤助手)
 檜村 理沙(ピアノ 院卒 非常勤助手)
 中村 望(ピアノ 桐朋卒 非常勤助手)
 林 萌美(ピアノ 院卒 非常勤助手)
 牧 華子(ピアノ 院卒 非常勤助手)
 松本 麻衣(音楽教育 卒 非常勤助手)
 柿崎 俊也(電オル 卒 非常勤助手)
 小林 夏菜美(ピアノ 院卒 伴奏助手)
 洲合 絵里名(ピアノ 卒 助手)
 竹崎 聡子(ピアノ 院卒 準演奏補助要員)
 西村 京一郎(ピアノ 卒 演奏補助要員)
 福島 未紀(ピアノ 院卒 演奏補助要員)
 高城 美希(ピアノ 院卒 準演奏補助要員)
 鎌田 萌々子(ピアノ 院卒 助手)
 鈴木 康子(ピアノ 院卒 演奏補助要員)
 山根えみり(ジャズ 院卒 演奏補助要員)
 山崎朱音(ピアノ 卒 演奏補助要員)
 山口琴世(ピアノ 院2 準演奏補助要員)
 西村ゆき乃(ピアノ 院卒 演奏補助要員)

◎現在養成レッスンを受けている学生

バレエ 学4、学4、

ピアノ 院2、院1、院1、学4、学3、学2、学2、学1、学1

◎指導講師

稲葉 智子

小泉 直美

陶山 高志

川口 春霞:2023年8月 英国ロイヤルバレエ団専属ピアニストに就任

洗足学園音楽大学、大学院ピアノコースを終了。大学院在学中からバレエピアニスト養成講座でバレエピアノを学び、谷桃子バレエ団、東京シティ・バレエ団などでバレエピアニストとして活躍後、2019年に渡英。コロナ禍での様々な困難を乗り越え、大きな夢に向かって努力し続けての快挙となった。

【昭和大学との連携】

洗足学園音楽大学に下記の科目の講師が昭和大学から派遣され、バレエコース・ダンスコースの学生が学んでいる。

解剖学(大塚 成人、井上 由理子) 動作学(仲保 徹)、
運動生理学(高山 靖規、堀川 浩之) 栄養学(安部 聡子)

昭和大学スポーツ運動科学研究所によるメディカルチェックが再開された。

2024年は、8月に1名、11月に1名、3月に2名、実施することができた。

昭和大学からは、先生方や理学療法士の方々がバレエコース公演を鑑賞。表現するための身体の負担、動きの特性も視察してくださった。

昭和大学との共同研究

加茂野 有徳 准教授 昭和大学保健医療学部、スポーツ運動科学研究所

安達 悦子 教授 洗足学園音楽大学音楽学部音楽学科 バレエコース

- (1) 研究課題名: バレエダンサーの下肢関節痛発症メカニズム解明にむけたバレエ基本動作の生体力学的解析
- (2) 研究目的: バレエ特有の動作において負担が集中しやすい動作のメカニズムを、下肢関節の接触力解析を用いて明らかにする。
- (3) 研究内容: 体表マーカーを用いた3次元動作計測(基本動作・バレエ動作)シミュレーション解析による関節内応力の推定
研究分担: 加茂野: 動作計測および解析
安達: 下肢関節傷害予防をふまえた技術指導のあり方の検討
- (4) 実施場所: 昭和大学藤が丘病院および横浜キャンパス
洗足学園音楽大学
- (5) 実施期間: 2022年10月6日から2027年3月31日まで

4 社会貢献・地域貢献活動

洗足学園附属幼稚園キッズコンサート

音楽教育プログラムとしてバレエコンサートを開催した。

日程・対象学年: 2024年10月29日(火)、11月5日(火) 年少～年長 全園児

会場: 洗足学園附属幼稚園 おゆうぎ室

出演: バレエコース有志

振付指導: 奥田 さやか

5 国際交流活動

Senzoku Summer Week

～世界的に著名な指導者によるマスタークラス～

日時:2024年8月26日月～9月1日(日)

会場:洗足学園音楽大学 ホワイトキャッスル5F W501/W502

クラシックバレエクラス:ローラン・フォーゲル

コンテンポラリークラス:マーシャ・コラル

クリエーション:山本 康介



開催目的:

世界的に著名な指導者による、クラシックバレエ・コンテンポラリーダンス・クリエーションのクラスを7日間にわたって開催し、日本国内で素晴らしい学び、経験が出来る場を多くの皆さんに提供する。

ジュニア:小学4年生～中学1年生

シニア:中学2年生～大学生

〜〜クラシックバレエクラス〜〜

奥田さやか

参加者

ジュニアクラス 20名

シニアクラス 35名(在学学生16名) 計55名

内容

7日間のプログラムの中でクラシックバレエの基本的な体の使い方、コンビネーション、音楽を感じ体で表現すること等を徹底的に学ぶ。

シニアクラス

8/26 月、8/28 水、8/30 金、9/1 日 10:30～12:00

8/27 月、8/29 水、8/31 金 12:50～14:20

ジュニアクラス

8/26 月、8/28 水、8/30 金、9/1 日 12:50～14:20

8/27 月、8/29 水、8/31 金 10:30～12:00

講師 【ローラン・フォーゲル】Roland Vogel

元 シュツットガルト・バレエ団 プリンシパル

モナコ・プリンセス・グレース・バレエ・アカデミー教師

ジョン・クランコ・バレエ・スクールで学び、シュツットガルト・バレエ団に入団。

『白鳥の湖』、『眠れる森の美女』、『ラ・バヤデール』などの古典バレエに主演、ジョン・クランコの『オネーギン』、『じゃじゃ馬馴らし』などの物語バレエをはじめ多くの作品を踊り、ダンサーとしてのキャリアの最後までシュツットガルト・バレエ団で活躍した。20世紀を代表する世界的振付家の数多くの作品に主演すると

もに、J・ノイマイヤー、U・ショルツ、D・ビントリーらの新作の初演キャストも務めている。1998年の長野冬季オリンピック大会の開会式でU・ショルツ振付『若い男』のパ・ド・ドウを踊り、1999年には『オネーギン』のタイトルロールでブノワ賞にノミネートされた。

1999年から2001年にヴェルデンベルク州立歌劇場の教育訓練プログラムに参加、ジョン・クランコ・スクールでクラシック・バレエ教師の資格を取得した。ダンサーとしてのキャリアを終えると直ちに教師に転じ、マリカ・ヴェゾブラゾヴァに招かれモナコのプリンセス・グレース・バレエ・アカデミーの教師陣に加わる。以来、現在のディレクターであるルカ・マサラの下でダンサーの育成にあたり、スクールのために多くの作品を振り付けている。カンヌ・ロゼラ・ハイタワー・バレエのゲスト教師、また、中国、日本では様々なスクールにおいてワークショップ指導を行っている。北京の中国国立バレエ団にはゲスト教師として定期的に招かれ、クランコの『オネーギン』、『ロメオとジュリエット』、U・ショルツの『第七交響曲』、『白鳥の湖』などを指導した。

東京のNBAバレエ団のコンクール審査委員会メンバー、ニューヨークのユース・アメリカ・グランプリの審査員を務め、2011年の第一回北京国際バレエ・コンクールにはゲスト教師として招かれた。2014年に振り付けた『オーゲンブリック』パ・ド・ドウは、北京舞蹈学院60周年記念のオープニングで踊られ、モンテカルロ・バレエ団の協力を得てプリンセス・グレース・アカデ

ミーでも上演された。日本バレエ団連盟の新進芸術家育成事業には、5度招聘している。基礎をしっかりと踏まえ、上体の動き、豊かな音楽性を大切にする指導で、受講者、見学者に深い感銘を与えた。

所感

計55名と多くの方にお申し込みいただいた。1日限りではなく7日間にわたってのプログラムを受講することにより、最終日には確実にレベルアップされた姿を拝見することができ、我々講師陣にとっても素晴らしい学びの機会になった。

ただ、講師の先生方は7日間通してのプログラムとしてご指導くださり、受講生もほとんどが通して申し込んでいた為、単発で参加の受講生が置いてけぼりになってしまう印象があった。来年度開催に向けての改善策を検討出来たらと思う。

7日間通してバレエクラスを見学させていただき、ジュニアの学年では、正確なポジション、体の使い方、カウントの取り方、音楽を感じて踊ることを徹底的に学び、それを習得した上でシニアで難しいコンビネーションに取り組むということが一流のダンサーを育てる上でとても大切だと改めて感じた。

日本では低学年からのコンクール出場などが盛んで、ジュニアの頃から難しいテクニックに挑戦することが優先されがちだ。バレエコースにも間違ったポジションでテクニックをこなすだけの学生が多く、正確なポジションに戻し音楽を感じて表現して踊るところまでもっていくのが非常に難しいというのが現状である。

また、3名の先生が揃ってご指摘されたシニアになる程、内向的でコミュニケーションが取りづらいという日本人に多く見られる性格についても授業を担当していて感じる問題である。

カンパニーに入ってプロとして活躍することを目標としている学生と、プロまでは目指さず楽しくバレエを学びたい学生との温度差があること、注意や指摘されることが苦手な学生が増えてきていること、また厳しく言いづらい時代ということもあり、対応の難しさを日々感じている。今回、Senzoku Summer Week開催に携わり、様々なメソッドがある中で、全てのメソッドに共通している約束ごとがあり、それが、我々が子供の頃に学んでいたものから進化していると感じた。今後の指導に反映出来るよう、また様々な状況の学生達に適切な対応を取れるよう、今回のプログラム詳細を記録し研究していけたらと思う。

〜〜〜コンテンポラリークラス〜〜〜

小林洋壱

講師 【マーシャ・コラル】Maša Kolar

リエカ・バレエ団 芸術監督

ザグレブ生まれ。クロアチアでダンス教育を受け、ベルギーに渡る。コンテンポラリーダンスの学士号と文化研究の修士号を取得。1986年にザグレブのコメディ・シアターでプロダンサーとしてのキャリアをスタートさせ、1992年にドレスデンのゼンパーオーパー・バレエ団に入団。1998年にキールのThoss TanzKompanieに入団、その後ハノーファーに移り、レッジョ・エミリアのAterballettoでダンスキャリアを修了。ベオグラード国立劇場バレエ団、ビテフ・ダンス・カンパニー、ハンブルク国立ユース・バレエ団、クロアチア国立バレエ団(ザグレブ、スプリット、リエカ)の振付を手がける。2017/18シーズンよりリエカ・バレエ団の芸術監督に就任し、現在、振付家、教師、クリエイティブ・プロデューサーとして7シーズン目を迎えている。

コンテンポラリークラスということで、あまり慣れていない人から、クラシックバレエ以外のジャンルのダンスを経験したことがある人まで、幅広いレベルの受講者でのクラスとなった。

7日間で動きを積み上げていったため、7日間通して毎日受講できる人と、数日しか受講できない人の間でだいぶ理解度に差が出てしまったように思う。コンテンポラリーダンスは講師それぞれの動きのスタイルがあり、特に若いダンサーは、様々な振付家の動きに対応できる身体、感性を身に付けることが目標、目的となってくるかと思うが、今回マーシャ先生がどのような目的を持って、何を伝えようとワークショップを組み立てていたかを質問して、丁寧な御回答をいただいた。

Q. 今回のコンテンポラリーのレッスンで心がけたことは何ですか？特にジュニアクラスではどんなことを心がけましたか？ダンサーたちに何を身につけてほしいですか？

A. 私にとって、コンテンポラリーダンスの練習は、時間と空間の中での動きの身体原理の意識的な使用に基づいています。より正確には、機能と形式に関連して身体をどのように使用し、理解できるかについて生徒たちの心を開いてもらいたかったのです。つまり、クラシックダンスやモダンダンスなどの他のダンス技術とコンテンポラリーダンスとの違いは、特定の種類のダンスの指導方法と実行方法にあります。クラシックダンスとモダンダンスには明確に定義された動きの形式があり、通常、それを作成したダンサー、教育者、振付師にちなんで名前が付けられます。バレエで最も有名なスタイルには、ワガノワ、ブルノンヴィル、バランシンなどがあり、モダンではグラハム、リモン、カニンガム、ホートン、ニコレーなどがあります。私はコンテンポラリーダンスを教えているので、身体機能の理解と認識を重視した教育を行う必要がありますが、動きそのものの形式は、生徒一人ひとりの解剖学的性質や個人の素質によって異なると考えています。簡単に言うと、私の現代的なクラス(フロアワーク、空間を通してのワーク、中央でのワークを組み合わせる)でのさまざまな演習やフレーズの練習を通じて、生徒たちが常に同じである原則を習得できるようにしたいと考えていました。同時に私は、彼らに個々の体の解剖学的設定と機能に頼ってほしいと思いました。

それが洗足サマーウィークワークショップの私の主な仕事でした。

ジュニアクラスでは、レベルや年齢に関係なく、動きの基本原理を導き出し、練習そのものを学ぶことが必要かつ重要です。ジュニアクラスでは、コーディネーション、体重の使い方、適切な開始、アーティキュレーション、動きの正確さなどの課題を含める必要があります。また、ダイナミクスの適切な使用、音楽の選択に関連した動きのフレージングも必要です。一方、ジュニア向けのコンテンポラリークラスは楽しく、少しエンターテインメント性のあるものでなければなりません。教師として、ポジティブで温かく信頼できる雰囲気を作り出す場合にのみ、ジュニアは私の提案に従い、私のリードに完全に従うことを知っています。ジュニアクラスの構成では、テクニック、流れ、リズムのバランスが適切でなければなりません。私は、ダンスのテーマを最後まで使い尽くすのではなく、テーマからテーマへと短い間隔で切り替えることで、ジュニアが積極的な関心と集中力を維持できるように努めています。

Q. 各クラスの参加者のレベルについてどう思いましたか？

A. 私は個人的に、コンテンポラリーダンスのテクニックの原則は初心者にもプロにも平等に教えられていると思っていますが、もちろん、習得のプロセス、あるいは新しく得た知識や新しく得たスキルの具体化はレベルによって異なります。

洗足サマーウィークワークショップの参加者は、コンテンポラリーダンスのテクニックに関する事前の知識があまりなかったもので、最初の数日は進歩が速かったです。週の後半には、開発ラインが停滞していることに気づきました。これは、動きの表現と動きの正確さをすぐに実行できないためです。これは初心者には非常によくあることです。

このワークショップの経験豊富な参加者、たとえば洗足学園大学の学生は、異なるプロセスに直面しています。彼らはすでにコンテンポラリーダンスのテクニックの経験があるため、新しく得た知識を、すでに知っている、学んだ原則に変換していますが、これはより難しいと思います。彼らは、いわば知識を再プログラムしているのです。

Q. ジュニアクラスは小学校4年生(10歳くらいから)でした。日本では、小学生のころからコンテンポラリーダンスに触れる機会は多くないかもしれませんが、幼いころからコンテンポラリーダンスに触れることについてどう思いますか？

A. 私は、子どもの総合的な発達は教育への総合的なアプローチによって達成されると信じており、その中でコンテンポラリーダンスの役割は計り知れないほど重要です。その幼少期にコンテンポラリーダンス教育を受けるジュニアの生徒は、認知、精神運動、感情、美的資質、社会的スキルをより容易に発達させることができます。

Q. 今回のワークショップについて、全体的にどう感じましたか？

A. 上級生には、慣れ親しんだ動きのパターンから抜け出すために、チャレンジし続け、リスクを冒すことを勧めます。すでに体にインストールされているコードで遊ぶことは、私の意見では必要です。失敗や成功しないという恐怖をスタジオから追い出し、オープンな心で珍しい未知のゲームに参加できるようにする必要があります。その方が望ましい結果になります。また、生徒には動きをもっと注意深く観察してほしいと思います。彼らは目が良く、提案され

た動きの何が特別で違うのかをさらに認識するためにそれを使うことができると思うからです。

生徒が言葉で反応し、反応すれば、私の知識を生徒に伝えるのがより簡単になります。そうすれば、教師として自分が正しい方向に進んでいることを確信するのに役立ちます。とはいえ、とても楽しかったので、近いうちにまた一緒に仕事ができることを願っています。

クラシックバレエのみでなく、コンテンポラリーダンス、また他のダンスにも触れて、身体感覚や感性を養っていく必要性を感じたワークショップとなった。

6 所蔵物

【楽譜】

デジタル楽譜 下記の作品の全幕を保有

「ジゼル」アドルフ・アダン作曲

「眠れる森の美女」ピョートル・チャイコフスキー作曲

「くるみ割り人形」ピョートル・チャイコフスキー作曲

【CD、DVD】

過去の演奏会や講習の記録ビデオや録音音源を保有

7 舞踊研究所事務局所在地

〒213-8580 神奈川県川崎市高津区久本2-3-1

洗足学園音楽大学ホワイトキャスル1階 W105

電話:044-856-2729 メール:buyou@senzoku.ac.jp

安達 悦子